

## 人文学部英語英米文学科の教員養成に対する理念・構想

人文学部英語英米文学科は、校訓「三実」（「真実」・「実用」・「忠実」）という教育理念を踏まえ、多様な価値観の見られる今日のグローバル社会で、国際社会に羽ばたき地域社会にも貢献しうる人材の育成を目的とする。また、英語運用能力を高めるための科目を階層的に配置するとともに、異文化への理解と関心をうながす科目を配置し、文学・文化コース、語学・教育学コースの2つのコースを設けている。このように、人文学部英語英米文学科では、英語を使ったコミュニケーション能力、異文化理解力を身につけ、国際人としてふさわしい幅広い教養と知識ならびに国際感覚を磨くため、少人数のゼミ体制を採り、海外研修プログラムも用意している。

こうした人文学部英語英米文学科の性格・目的をふまえ、教員養成においては、「国際化に対応でき、グローバル時代にふさわしい国際人として英語力とコミュニケーション能力を備えた教員の養成」を理念とし、中学校および高等学校の英語科教員を養成するための教職課程を設置する。

この理念を実現するための教員養成課程の構想として、各年次で以下のような科目を設定し、重層的な学びへとつなげていく。

- 1年次：EIC1、EIC2を中心に「聞く」「話す」コミュニケーション能力を、時事英語Ⅰ・Ⅱなどの基礎的科目をとおして英語力のほか異文化理解力の素地を形成する。また、教師論や教育原理等の教職に関する科目、および関連する共通教育科目を履修して、教職に求められる基礎的知識や態度を養う。
- 2年次：英語学や英語文学に関する専門科目を通じて、英語を教えるために必要な言語的・文化的な知識を修得する。また、異文化理解に関する専門科目をとおして、多様な価値観に対する関心や理解を高め、教職に関する科目と合わせて、生徒を指導するうえでの基本的視座を身につける。
- 3年次：1・2年次よりもさらに高度な授業内容をもとに、コミュニケーション能力を一層高め、英米文学研究等をとおして異文化を理解する意欲・態度を養い視野を広げる。また、教職に関する科目において、学校教育の現場に関する理解を深め、教科教育法ではさらに授業力を磨き、教育実習に必要な実践的指導力を高める。
- 4年次：3年次までに培った学修をもとに教育実習を行う。学校教員としての自覚と使命を再確認すると同時に、自己の課題を見つめ直し、不足している知識や技能等を補う。

以上の理念・構想から、「多様な価値観を尊重し、国際的な視野から物事を考える視座をもつ、コミュニケーション能力の高い教員」を人文学部英語英米文学科の目指す教員像とする。

## 人文学部英語英米文学科に教職課程を設置する趣旨

### ○中学校教諭一種免許課程（英語）の設置趣旨

人文学部英語英米文学科は、国際化に対応できる英語力とコミュニケーション能力を備えた教員を養成することを理念とする。

グローバル化が一層進み、多様化した価値観のみられる今日の社会においては、異文化に対する積極的な関心や理解およびコミュニケーション能力は、どのような職業においても重要であり、そうした能力・態度を育成するための指導力は、中学校において生徒の指導にあたる教員にとっても不可欠である。

中学校学習指導要領（外国語）の目標には、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」とある。人文学部英語英米文学科では、基本的で日常的な事柄について英語で意思疎通する力や、英米文化を中心として異文化に積極的な関心を持ち行動に移す態度を養う。中学校の英語教育においては、言語や文化に対する理解やコミュニケーションへの積極的態様の育成が求められており、人文学部英語英米文学科で育成しようとする人材が果たせる役割は大きい。

以上のことより、中学生のコミュニケーション能力の基礎の形成に寄与することを目指して、人文学部英語英米文学科に中学校英語の免許課程を設置する。

### ○高等学校教諭一種免許課程（英語）の設置趣旨

人文学部英語英米文学科は、国際化に対応できる英語力とコミュニケーション能力を備えた教員を養成することを理念とする。

グローバル化が一層進み、多様化した価値観のみられる今日の社会においては、異文化に対する積極的な関心や理解およびコミュニケーション能力を育成するための指導力は、高等学校において生徒の指導にあたる教員にとっても不可欠である。

高等学校学習指導要領（外国語）の目標には、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」とある。人文学部英語英米文学科では、こうしたコミュニケーション能力を育成するため、少人数ゼミや階層的なカリキュラムを設けており、学生は英語による日常会話からディベートまで幅広く修得する。さらに、英米文学の学習をとおして異文化に対する理解を深め、あるいは英語の教育法を研究するコースの特色をいかし、グローバル化の時代に対応した英語教育を実践することのできる高校教員の養成に貢献することができる。

以上のことより、人文学部英語英米文学科に高等学校英語の免許課程を設置する。